

第2次奥州市水道事業中期経営計画（後期計画）の達成状況の公表について

第2次奥州市水道事業中期経営計画（後期計画）の令和7年度における達成状況について、次のとおり公表します。

1 計画達成に係る指標（数値目標）

- (1) 有収率
- (2) 管路耐震化率
- (3) 管路耐震適合率
- (4) 経常収支比率
- (5) 料金回収率

2 計画達成状況

（単位：％）

指標 \ 年度	区分	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
有収率	計画	82.0	82.4	82.8	83.2	83.6
	実績	81.9	82.7	83.4		
管路耐震化率	計画	17.7	18.2	18.7	19.2	19.7
	実績	17.8	18.7	19.2		
管路耐震適合率	計画	43.8	43.9	43.9	44.0	44.0
	実績	44.3	44.9	45.3		
経常収支比率	計画	101.6	106.4	105.3	103.7	109.1
	実績	102.5	107.8	104.5		
料金回収率	計画	83.6	84.2	84.2	82.6	89.4
	実績	79.8	86.4	83.6		

- ※有収率 総配水量に対して料金徴収の対象となった水量の割合。高いほどよい。
- ※管路耐震化率 すべての管の延長に対する耐震性のある管の延長の割合。高いほど耐震性がある。
- ※管路耐震適合率 すべての管の延長に対する耐震適合性のある管の延長の割合。高いほど耐震性がある。
- ※経常収支比率 経常費用（営業費用及び営業外費用）が経常収益（営業収益及び営業外収益）によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。
- ※料金回収率 給水原価（水を供給するための費用）に対する供給単価（水道料金の単価）の割合。高いほど収益性がよい。

【評価】

有収率は、水圧適正化などの漏水対策事業により前年度よりも上昇し、計画値を上回りました。また、管路耐震化率及び管路耐震適合率も計画値を上回りました。

経常収支比率及び料金回収率は物価高騰や維持管理費の経費が増大したことなどから前年度よりも低下し、ともに計画値を下回りました。